

北軽井沢には大きな天文台が2つあります。一つは駿台学園の宿泊施設にある「北軽井沢天文台」です。ここは数年前まで夏には観望会も開催されていましたが、ここ数年そういう催しは聞いていません。もう一つは、リゾートマンションの18階にある「北軽井沢グランビュー天文台」です。

「星空が美しい」と明言できる基準の一つに、「天の川を肉眼で容易に観望できる」というものがあります。北軽井沢はその基準に当てはまります。もともと関東屈指の星空が美しい土地と言えるのです。更に高層マンションの最上階に設置された天文台なのですから、すばらしい観測ができるのは当然なのです。

しかしこの天文台は、長年ほとんど使われていませんでした。マンションの区分所有者は無料で使える規定なのですが、「超大型の反射赤道儀」という、専門性の高い機器の扱いをできる人が誰もいなかったのだそうです。私は赤道儀や天体観測の知識は多少あるので、望遠鏡メーカーのメンテナンス終了を機に、マンションの理事長さんに依頼されて、私が試験観測を行ったのです。

私もこれだけ大きな天体ドームを自分で動かすのは初めてです。大型望遠鏡の視野（観測できる天球上の範囲）は非常に狭く、また機器をできるだけ外気にさらさないほうが良いので、天体ドームは観測する方向だけに細長い窓を向けて使います。赤道儀や望遠鏡の扱いよりも、まず電動で回転するドームの扱いに慣れておく必要があります。恐る恐る指示器のボタンを押すと、ドームはゆっくりと回りました。これだけでも、なぜか天文学者になった気分でした。いずれは地元の小中学生や居住者向けに「星空観望会」を実施したいと思っていますが、参加者の子どもたちには、このドームを回転させるボタンを押してもらっただけでも、十分に楽しんでもらえそうです。動画の最後に写っているのが「浅間山」と「金星」です。

(2024年11月上旬／北軽井沢グランビュー天文台)

